

U9 テキサス ライムストーンズ (テキサス)

クライミングも長いと続けているとチンケな岩場 (その岩場に思い入れをしている方にはとても失礼ですが)に出会うことも多いだろう。特に雑誌などに発表された写真と、現実の岩場が違うというのは良く耳にする。アメリカに冬に訪れようと、あれこれ調べていたおり、クライミング誌140号にオースチンライムストーンと題してすさまじいバングした写真が掲載されていた。冬でも登れ、おまけにライフルの開拓者として有名なカートスミスがすばらしいボルダーエリアもあるとコメントしており、一気に行ってみたくなった。そうこうしているうちにロックアンドアイス誌にもオースチンを中心にその近辺のサンアントニオ、ダラスなどに多くのエリアが築かれているのが紹介された。半年間のヨーロッパクライミングツアーを終え、そのままテキサスに直行し1996年1月に1ヶ月ほどテキサスに滞在することになった。しかし予想とは違い充実した日々を送ることはできなかった。ここでは幾つかのエリアをまとめて紹介したい。

1 オースチンライムストーン

テキサスの州境オースチンの近郊には約17のクライミングエリアが点在している。すべて岩質は石灰岩。ただしほとんど10m以内のショートルートが多く、チッピングなども各所に見られ内容は決して良くない。

宿泊

モーターはオースチンの街で。キャンプ場は街に近い為あまりない。KOAなどのキャンプ場はハイウェイの脇に幾つかある。少し離れるがレイク オースチンのEMMA LONG METROPOLITAN PARKのボートラン桟橋に良いのがある(市内マップを購入してから行くのがよい)。ただし冬は水もなくてさみしい所だった。シャワーあり。

シーズン

一年中O、K。ただテキサスは南部の為夏はかなり暑い。秋から春がベストと思われる。

ショッピング

必要な物はオースチンの街ですべて手に入る。マウンテンショップはテキサス州にチェーン店を持つWHOLE EARTHが良い。トポはテキサス ライムストーン2が1996年に出版されている。その他クライミング140号。ロックアンドアイス63号。

アプローチ

各エリアを紹介していると大変なのでトポを参照して調べて行ってほしい。ただかなり見つけづらいので市内マップは必需。

(1) パートンクリーク

オースチン郊外のパートンクリークは、ほとんど水の流れていないパートン川を中心とし雑木林が生い茂り、遊歩道がはりめぐらされており、市民の憩いの場となっている。その中にボルダーエリアも含め8箇所のエリアがある。

アーバン アザルト

すべてはこのエリアの写真が間違いの元だった。このエリアの高さは15m以上あり、この近辺では一番大きく上部におおきく張り出したレーフをもつ。ほとんど5,12以上しかない。ただ大変岩がもろく今一取り付く気にはなれない。ほとんどの人が訪れている気配がなくホールドはざらざらでとても怖い思いをした。

一日中日向。とても暖かい。

ガス フェー

このエリアはパーキングからとても近くとても人気がある。とは言ってもグレードはほとんど5,11以下。傾斜は垂直からそれ以下で高さも10mほど。日陰だが十分登れる。

その他幾つかのエリアがあるがどれも10m以下。高難度ルートもあるがボルトも2~3本のルートがほとんどで取り付く気はおこらなかった。現在は登攀禁止の行為がなかったが、ウェットケイブエリアにはカートスミスお進めのボルダーエリアがある。

(2) ブルークリーク

この岩場はオースチン郊外の BULL CREEK DISTRICT PARK の側にある。岩場はブルークリークに沿う様にある。エリアまでのアプローチ途中も短いながらさまざまにハンギンホールにもない。岩の下を抜けて行く。トポにも5, 12以上のルートがずらずらと並んでいた。しかし取り付きに着くや啞然としてしまった。10m以下の薄被りの岩に巨大なドリリング跡。そして錆びたボルトと岩からのしみ出し。ペンペン草。もはや終わっていた。パーキングにはボルダーがあるのでそれのみ少し登って以後訪れることはなかった。雨が降ると登れない。南向き。

(3) その他

全体的にオースチン郊外にはこのようなエリアが多い。私は行ってないが少し離れているセックスキャニオンは珍しくコルネが発達して面白いと言う(6, 11以上のルートが20本ほどある。ただしボルトはほとんど4本以下)。

2 テンプル ベルトンライムストーン

オースチンから北へ1時間ほどの BELTON の街の郊外にトポの表紙にもなっているこのエリアはある。エリアは2箇所に分かれているが、どちらもとても被っていて見た目はとても面白そうである。高さは10m以下のショートルートだがグレードの多くは5, 12以上の高難度が揃っている。しかしこもすさまじいドリリングがされている。世界中多くの岩場を回ってきたがここはかなりすごい。スペインやピュークスのは比ではない。5本の指の形の穴やハンドルの様に貫通させられた穴など。もはや大工仕事の粋に達している。スタイルには非常にきびしい国アメリカもついにここまで来たかとさえ思えて来る。アメリカ国内でもこのような所は極々一部ののだが…。しかしこれを人工壁だと割り切ってトライするとそれなりに面白かった。

FRONT WALL は道のすぐ側で一日中日向。少々の雨ならOK。

WRATH WALL は少し道から奥に入った林の中にある。ドイツのフランケンユラーに見た目は似ている。東向きで少々の雨なら登れる。

3 サンアントニオライムストーン

サンアントニオの街の西側に幾つかのエリアが築かれている。かなりの高難度ルートもあったが、すべて現在登攀禁止になってしまった。一応岩場を見に行っただが…もう終わっていた。エリアを探すのはかなり難しい。